

議事録名：2023年度 第6回 運営推進会議			
日時	2024年 3月19日（火）13：25～14：20	議事進行	3月19日
場所	小規模多機能型居宅介護 令和の郷 2階 リビング	池野	書記：池野
出席者	<input type="checkbox"/> 池野（令和の郷 管理者兼計画作成担当者） <input type="checkbox"/> 斎藤（開成町役場 福祉介護課） <input type="checkbox"/> 小澤（開成町地域包括支援センター） <input type="checkbox"/> 茅野（開成町地域包括支援センター） <input type="checkbox"/> 諸星（上島地区 児童民生委員） <input type="checkbox"/> 木村（上島地区 児童民生委員） <input type="checkbox"/> 長田（陽風会 在宅介護部門 副部長） 以上7名（敬称は省略させていただきました。）		
資料	2023年度 第6回運営推進会議次第、2024年1月・2月度 運営状況報告書、 2024年度 年間予定表 以上当日配布		
議題及び議事内容			
<p>次第に従い議事進行致しました。</p> <p>1. 開会あいさつ（池野）</p> <p>初めて出席される参加者もあり、全員が自己紹介を行いました。</p> <p>本日は、ご利用者様及びご家族様については、案内を行いました。参加者希望者は、無かった事、また出欠表にもご意見、ご質問なども無かった事についての説明を行いました。</p> <p>2. 運営状況報告</p> <p>管理者の池野より、当日配布の「小規模多機能型居宅介護 令和の郷 2024年1月・2月度 運営状況報告書」の読み合わせによる運営状況の報告を行いました。</p> <p>利用者状況について、1月の登録者は、請求ベースで21名でしたが、1月中に2名の終結者があり、1月途中より19名の登録者数で推移しています。平均介護度も2.0を切っており、経営的には苦しい状況です。訪問サービスが多い状況は続いています。3月に入り新たに2名の登録者が増え、現在は、21名となっております。3月に入り、泊り利用の方も増えてきています。退院支援などの依頼もあり、今後、泊り利用の方が増えると同時に日中の滞留者数も増えるため、状況に応じて職員の補充も検討して行きます。健全な運営のためにも、更に登録者数を増やすとともに平均介護度ももう少し上げる必要があると考えています。</p> <p>職員状況については、本年1月1日付で、正規職員1名が増員されました。この職員も事業所での業務に慣れ、他の職員と同様に業務ができるようになっていきます。</p> <p>研修状況について、昨年12月で今年度予定していた法定研修は全て終了しました。1月は、法定研修ではありませんが、「介護保険制度について」の研修を行いました。介護事業所の職員として知ってほしい内容についての研修を実施しました。今回は、開成町が発</p>			

行している「介護保険制度」の冊子が手に入らなかったため、小田原市が発行している「わたしたちの介護保険」の冊子を活用して行いました。ご利用者様、ご家族様、近隣の方からの質問などにも答えられるよう知識を深めました。

→開成町の「介護保険制度」の冊子については、開成町の第9期介護事業計画及び介護報酬が4月以降に発表、改定となるため、新しい冊子を現在作成中。6月以降に冊子が完成するので町役場に取りに来て下さい。（開成町役場 斎藤氏より）

2月については、研修計画自体がなく、研修は行いませんでした。

活動内容・利用者の状況について、新年より天候も比較的暖かい日が多く、年明けは、ご利用者様を連れて近所の古田神社に初詣に行きました。また、吉田島高校の生徒さん達や三平保育室の園児さん達を事業所に招いて一緒にどんど焼きの団子づくりを行いました。その場で焼いて一緒に食べて楽しみ多世代交流も実施でき、ご利用者様からも笑顔があふれる新年をスタートさせる事ができました。近所のファミリーレストンに出かけて食事を楽しむ事もできました。2月は、事業所内での豆まきや屋外で焼き芋を焼いて食べて楽しみました。

ご利用者様の活動ではありませんが、2月には開成町による「運営指導」があり、運営上の問題等はない事が確認できました。

ヒヤリハット・事故・苦情報告について、1月2月共に0件でした。

3. その他

・運営法人の変更について

3月1日（金）より、運営法人が「医療法人 陽風会」から「医療法人 勝又」に変更になりました。事業の運営、職員の処遇についても今まで通り変わり無い事が確認できています。また、法人変更に伴い、ご利用者様には、居宅変更の為に「介護保険被保険者証」の再提出や「契約書」「重要事項説明書」「個人情報使用同意書」等の書類の取り交わしが必要となり、お手数をお掛けしましたが、無事全員の方の居宅変更を行う事ができ、書類の取り交わしもほぼ終了する事ができています。

・2024年度 事業所年間予定について（別紙 2024年度事業所年間予定表参照）

事業所実施の法定研修について、今年度は、全ての内容について管理者が講師役を務めました。次年度は、職員に自己学習を行う機会、人前で発表する機会を確保するために担当制としました。

事業所の自己評価については、今年度はスタートが遅れてしまった関係で今年度中に終了する事ができなかったため、次年度の予定表には盛り込みました。事業所の自己評価については、全部で9項目あり、全職員が自己評価を行った後に事業所内でミーティングを行い、結果を運営推進会議で報告する事業所のサービスの質の向上のために実施する事になっているものです。

身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会については、次年度より新たに高齢者虐待防

止委員を設置する事が義務化されました。また、身体拘束廃止委員会は年2回以上、高齢者虐待防止委員会については、年1回以上の開催が義務となり、令和の郷では「身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員」として委員は、兼務する事にしました。また、委員会の開催を確実にを行うために予定表に盛り込みました。

防災訓練、BCP机上訓練については、介護施設では、年2回の法定訓練が義務付けられており、令和の郷では、3月と11月の2回、法定訓練を行う予定となっています。法定訓練では、地震を想定したシェイクアウト訓練、火災を想定した避難誘導訓練、水消火器を使用した消火訓練、職員を対象とした通報訓練を実施しています。そのほか6月にも自主避難訓練を行っています。令和の郷は、浸水想定エリアでは無いため、垂直避難訓練は行っておりません。また、BCP（災害時事業継続計画）の机上訓練を次年度は3回、年間計画に盛り込み計画的に実施してブラッシュアップを図ります。BCPの設置については、今年度中に設置する事が義務化されています。

その他、記載されているイベントについては、最低限実施する内容となっており、記載されていること以外のイベントも都度実施して行く予定です。

・2024年度の吉田島高校との交流について

2024年度も引き続き吉田島高校との関りは継続して行きたいと考えております。ただ、吉田島高校も現在、年度の変わり目という事もあり、打ち合わせは中断しております。「介護」「看護」「保育」の人材の確保・育成も視野に入れた活動ができればと考えています。交流により一人でも多くの生徒がこの業界に興味を持ってもらえれば、と考えています。令和の郷から学校へ提供できる内容として、「認知症サポーター養成研修」、「普通救命講習」の提供。「インターンシップ」や「職業体験」等の受け入れ、「高齢者向けの地域イベント（スマホの使い方講習会）」の共同企画・開催などを検討しています。交流が進んでくれば、事業所の運営推進会議などへの参加も考えています。

また、吉田島高校だけでなく、文命中学にも「職業体験」に来てもらいたいと考えています。中学校とのつながりは、新たな利用者の掘り起こしにもつながると考えています。地域のコミュニティとして地域とつながる事が、地域包括ケアに向けて必要な事と考えています。

・2024年度の広報活動について

現在、集客の為の広報活動は、居宅介護支援事業所（ケアマネ事業所）や病院の地域連携室が中心となっています。現在、介護離職が社会問題となっているため、次年度は今までの広報先に加えて、企業の総務・人事宛に介護相談会の企画を持ち込む事を検討しています。企業としても「介護離職対策を行っている」事が必要となってくると思われるのでお互いウインウインの関係が持てるのではと考えています。現在、検討している企業としては、「明治ゴム」「柴橋商会」を検討しています。

→開成町にある大きな企業として「クレシア」もあります。との紹介あり。

4. 意見交換（出席者からの質問事項について、フリーディスカッション方式で行いました。
また、運営状況報告書の説明内での質問についてもこちらに掲載させていただきます。）

- 介護相談について民生委員さんより

介護離職の問題について、企業への介護相談はとても良いと思います。相談できる場所や機会を増やすことがとても大事だと思います。自分もサークル活動の中で色々な人と話す機会があり、その中での情報の収集や発信で地域包括に繋げる事ができた経験があります。情報出すことが大事だと思います。

→本人は、まだ介護なんて必要なく大丈夫だと言っている人も良く話を聞くと支援を入れなくてはいけないケースもよくあります。（開成町役場 斎藤氏）

- ガストに食事に行った時の事を聞かせて下さい。（民生委員）

1月の下旬に何日かに分けて行きました。職員2名体制で車でピストン輸送して行きました。ご利用者は、とても喜んでおりました。今回使用した店舗は、車いす用の駐車スペースが無く、帰りの時間が混雑時間と重なり、少し送迎が大変だったので次回は、駐車場についても調べて店舗を決める必要がある事、またちょうど感染症も流行する季節なので、急に職員のお休みなどもある事やご利用者の感染リスクも考慮して次回は時期を決める事などの反省が出ました。

- 開成町より第9期の介護事業計画についての説明（開成町役場 斎藤氏）

今までと大きな変化はありませんが、基準の介護保険料が200円ほど上がり、5400円から5600円となる予定です。

- 介護報酬の改定について（池野）

介護保険の介護報酬の改定が概ね3年毎に改定があり、4月から介護報酬が変更となります。小規模多機能型居宅介護の基本報酬は、若干の値上げとなります。

→加算申請については、まだ、県から書類が出てきていないため、もう暫く待って下さい。提出については、基本は前月の提出ですが、今回については、4月中の提出であれば大丈夫です。（開成町役場 斎藤氏）

- 事業所に防災用のヘルメットの設置は必要ですか？（事業所から町役場への質問）

介護保険上の設置義務はありませんが、行政としては「設置が望ましい」「できれば設置して欲しい」としか言えません。後は、法人、事業所としてご利用者や職員に対する安全配慮に対する考え方なので。

- 1月に独居の方が亡くなった際の対応ありがとうございました。（民生委員さんより）

1月に事業所を利用している独居の方が自宅で亡くなった件についての説明を行いました。毎日、夕食を配食しているご利用者様で夕方に訪問した際に応答がありませんでした。時々、訪問したと時に入浴していた気付かない時もあるため、時間をずらして訪問（20分～30分後）を行いました。3回目の訪問の際にも応答がなく、介護者様（千葉に在住）に電話連絡し、「警察に介入してもらい家の中に入りますか？」と伝えましたが、介護者様からは「そこまでしなくても良い」との事。翌朝、再訪問して様子を見る事を約束しました。最後に15分後に4回目の訪問を行い応答

が無い事を確認しました。翌朝、訪問し縁側の窓から室内を良く観察するとご本人の足が見えました。急いで事業所に戻りご本人の個人ファイルを持ち、駐在所に立ち寄り通報。介護者様に電話連絡を行い、警察介入で室内に入る許可を取り、警察から消防に通報。消防署のレスキュー隊により縁側の窓を開け訪室、ご本人が亡くなっているのを発見した事の説明を行いました。民生委員さんからは、亡くなったにせよ早く発見してあげる事ができて良かったです。との言葉を頂きました。

5. 次回の開催について

令和6年5月21日（火）13時30分～予定。

6. 閉会の挨拶（池野）

以上

回 覧

総務局長	副部長	管理者	職 員